

2016年9月施行症例の集計結果/ 概要

施設数	206		
症例数	2476		
年齢	65.3±10.2歳		
男/女	1744 (70.4%) /732(29.6%)		
セッション回数	1回め	1982	80.0%
	2回め	382	15.4%
	3回め以上	112	4.5%
AFの種類	発作性	1552	62.7%
	持続性*	651	26.3%
	長期持続性	273	11.0%
血栓塞栓症のリスク (CHA2DS2-VAScなど)	C/心不全	366	14.8%
	H/高血圧	1315	53.1%
	A2/75歳以上	439	17.7%
	D/糖尿病	369	14.9%
	S2/脳梗塞・TIA	163	6.6%
	V/血管疾患	169	6.8%
	A/65-74歳	1478	59.7%
	Sc/女性	732	29.6%
	CHADS2	1.14±1.06	
	CHA2DS2-VASc	2.28±1.71	
上記に無い基礎疾患	CAD	159	6.4%
	DCM	39	1.6%
	HCM	68	2.7%
	その他の心筋疾患(サルコイドーシスなど)	22	0.9%
	洞不全症候群	156	6.3%
	甲状腺機能亢進症、その既往	51	2.1%
	慢性呼吸器疾患	35	1.4%
	先天性心疾患	17	0.7%
	後天性弁膜症	62	2.5%
	腎機能低下	214	8.6%
	人工透析を要する腎症	31	1.3%
開心術後	42	1.7%	
心エコーのデータ	左室駆出分画(EF/%)	62.4±9.9	
	左房径(mm)	40.3±8.0	
抗不整脈薬の効果	治療歴なし	827	33.4%
	薬物治療抵抗性	1269	51.3%
	有効な抗不整脈薬あり	137	5.5%
抗不整脈薬の服用歴	ジソピラミド	62	2.5%
	シベンゾリン	203	8.2%
	アプリンジン	70	2.8%
	ピルジカイニド	496	20.0%
	フレカイニド	247	10.0%
	プロパフェノン	54	2.2%
	ベプリジル	399	16.1%
	アミオダロン	160	6.5%
その他(ベラパミルは除く)	133	5.4%	

アブレーション前の検査	経食道心エコー/TEE	1821	73.5%
	MRI	22	0.9%
	MDCT	2143	86.6%
治療に要した時間	入室から退室	3.3±1.3時間	
透視時間	時間(分)	46.1±37.3分	
特殊な診断治療機器	CARTO	1387	56.0%
	EnSite	800	32.3%
	Rhythmia	44	1.8%
	イリゲーションカテーテル	1897	76.6%
	ノン-イリゲーションカテーテル	206	8.3%
	クライオバルーン	547	22.1%
	クライオカテーテル	30	1.2%
	ホットバルーン	54	2.2%
焼灼法 ●以前のPVIが不完全なため追加焼灼したものを含む	PV隔離 上下PV一括隔離	1409	56.9%
	PV隔離 個別隔離	818	33.0%
	PV隔離 Box隔離 (4本一括隔離)	140	5.7%
	PV隔離を行わず (既に隔離済みのため)	92	3.7%
	PV隔離を行わず (これまでも未施行)	1	0.0%
	右房のCFAE	54	2.2%
	左房のCFAE	137	5.5%
	RA focal	83	3.4%
	LA focal	76	3.1%
	LA 線状/天蓋部	354	14.3%
	LA 線状/僧房弁輪(峡部もしくは前壁ライン)	184	7.4%
	LA 線状 (PV隔離と天蓋部・僧房弁輪以外)	228	9.2%
	右房解剖学的峡部	1124	45.4%
	SVC/focal or 隔離	476	19.2%
	GPアブレーション	50	2.0%
	冠静脈洞/ focal, linear	67	2.7%
	PLSVC/ focal, linear	2	0.1%
	マーシャル静脈への高周波アブレーション	8	0.3%
	マーシャル静脈へのChmeicalアブレーション	4	0.2%
	低電位領域へのアブレーション	54	2.2%
	Roter (Driver)	16	0.6%
術中も作用を残した抗血栓療法 ●前日まで使用したNOACを含む	ワーファリン	287	11.6%
	ダビガトラン(プラザキサ)	271	10.9%
	リバーロキサバン(イグザレルト)	606	24.5%
	アピキサバン(エリキュース)	837	33.8%
	エドキサバン(リクシアナ)	395	16.0%
	抗血小板剤(アスピリン等)	100	4.0%
術中の麻酔方法 ●主なものをひとつ	Minimal sedation	162	6.5%
	意識下鎮静(中等度鎮静)	756	30.5%
	深鎮静:鎮静に専従する医師による	147	5.9%
	深鎮静:上記以外による	1220	49.3%
	全身麻酔	187	7.6%
鎮静に用いた薬剤	プロポフォール (ディプリバン)	1348	54.4%
	デクスメトミジン (プレセデックス)	1516	61.2%
	ミダゾラム (ドルミカム)	222	9.0%
	ペンタゾシン (ソセゴン、ペンタジン)	1264	51.1%

	ヒドロキシジン(アタラックスP)	845	34.1%
	フェンタニル	644	26.0%
	その他	582	23.5%
術中モニター・管理	動脈圧	2043	82.5%
	SpO2	2467	99.6%
	ETCO2	359	14.5%
	BIS	783	31.6%
	ASV/BiPAP	929	37.5%
	経鼻エアウェイ・経口エアウェイ	383	15.5%
	ラリングアルマスク	432	17.4%
	食道温測定	2183	88.2%
術中の電氣的除細動	0回	1235	49.9%
	1回	752	30.4%
	2回	218	8.8%
	3回	106	4.3%
	4回以上	110	4.4%
焼灼後のAF誘発	施行して持続した(5分以上の持続)	268	10.8%
	施行したが持続しない(5分未満)	1136	45.9%
	施行せず	928	37.5%
合併症	ドレナージを要さない心膜液貯留(心外膜炎を除く)	8	0.3%
	ドレナージを要した心膜液貯留	17	0.7%
	開胸を要した心膜液貯留	3	0.1%
	房室ブロック + 一時的ペーシング	2	0.1%
	房室ブロック + 恒久型ペースメーカ	0	0.0%
	洞停止・洞性徐脈 + 一時的ペーシング	12	0.5%
	洞停止・洞性徐脈 + 恒久型ペースメーカ	2	0.1%
	TIA	0	0.0%
	脳梗塞	0	0.0%
	画像検査で確認された無症候の新鮮脳梗塞	6	0.2%
	気胸	2	0.1%
	血胸	0	0.0%
	一過性横隔神経麻痺	17	0.7%
	遷延性横隔神経麻痺	6	0.2%
	空気塞栓	8	0.3%
	肺静脈狭窄 (75%以上)	0	0.0%
	動静脈瘻	3	0.1%
	穿刺部血腫	23	0.9%
	後腹膜血腫	0	0.0%
	仮性動脈瘤	7	0.3%
	左房食道瘻	1	0.0%
	食道心嚢瘻	0	0.0%
	食道縦隔瘻	0	0.0%
	心外膜炎	4	0.2%
	食道神経叢障害/急性胃拡張	5	0.2%
	その他の重篤な合併症	15	0.6%
	死亡	1	0.0%
	合併症件数(人数)	142	126人/5.1%
退院時の処方	ワルファリン	284	11.5%
	ダビガトラン(プラザキサ)	275	11.1%

リバーロキサバン (イグザレルト)	604	24.4%
アピキサバン (エリキュース)	863	34.9%
エドキサバン (リクシアナ)	398	16.1%
抗血小板薬 (アスピリン等)	137	5.5%
ジソピラミド	8	0.3%
シベンゾリン	65	2.6%
アプリンジン	43	1.7%
ピルジカイニド	139	5.6%
フレカイニド	169	6.8%
プロパフェノン	19	0.8%
ペプリジル	361	14.6%
アミオダロン	122	4.9%
その他の抗不整脈薬	20	0.8%
ベラパミル	103	4.2%
β 遮断薬	938	37.9%
ACE阻害薬	154	6.2%
ARB	573	23.1%
スタチン	494	20.0%